

令和6年度 シラバス

教科	1年社会	担当	
----	------	----	--

1【教科の目標】

社会的な事柄や出来事に対する関心を高め、広い視野に立って課題を主体的に解決しようとする態度を育てるとともに、幅広い知識をもとに諸資料を活用し、多面的・多角的に考察・判断し、表現する力を養う。

2【1年社会 年間指導計画】

学期	月	単元・題材	時数	学 習 活 動
1学期	4	地理 第1部 世界と日本の地域構成	55	地理 ・六大陸三大洋, 六つの州を位置や名前, 分布を理解し, 世界地図や地球儀を用いて六大陸三大洋, 六つの州の位置を示す。 ・さまざまな国の面積や形, 人口, 国旗などを理解し, 世界の地域構成を多面的・多角的に考察する。 ・緯度・経度のしくみを理解し, 時差を正しく求める。 ・雨温図を正しく読み取り, その地域の気候を理解する。 ・世界の地域のさまざまな生活や環境, 衣食住について理解し, 多面的・多角的に考察する。 ・各州の自然環境や文化, 歴史, 抱えている課題, 他地域との結びつきについて多面的・多角的に考察し, 表現する。
	5	○第1章 世界の姿 ○第2章 日本の姿		
	6	第2部 世界のさまざまな地域 ○第1章 人々の生活と環境		
	7	歴史 第1部 歴史のとらえ方と調べ方 第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり		
	8 9	○第1章 古代国家の成立と東アジア		
2学期	10	地理 ○第2章 世界の諸地域 アジア州, ヨーロッパ州, アフリカ州	50	歴史 ・我が国の歴史を, 世界史を背景として理解する。 ・歴史に関する資料を適切に読み取る。 ・小学校で学習した内容を踏まえて歴史を学習する。 ・古代文明や諸宗教が世界各地で発展し, 民族的特徴が文化したことを理解する。 ・我が国の農耕の広まりと, 生活の変化について, 大陸の情勢の変化を踏まえて考察する。 ・海外との通交(朝貢)や貿易, 来航によって我が国の歴史がどのように変容してきたかを考察し, 適切に表現する。 ・各時代区分の特徴を, 政治制度や経済の変化を踏まえて考察し, 適切に表現する。 ・国家権力が豪族の手から朝廷へ移行し, その後, 武家政権が成立する過程を理解する。
	11	歴史 ○第2章 武家政権の成長と東アジア		
	12	地理 ○第2章 世界の諸地域 北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州 ※地形図の扱い方		
	1	○第3章 武家政権の展開と世界の動き 第1節 大航海によって結びつく世界		
	2 3	第2節 戦乱から全国統一へ		

3【社会科の学習について】

＜学校＞

- ①授業開始前に教科書等必要な道具を机の上に準備しておきましょう。
- ②「聞く」「考える」「書く」活動を大切に行いましょう。
- ③前の時間の内容の復習である小テストや課題にしっかり取り組むようにしましょう。

＜家庭＞

- ①復習を基本として行いましょう。
- ②前の時間に学習した内容の問題を, 自主学習を使って, 解答を隠すなどして何度も解きます。解けない問題は解説を読んだり, 先生に質問しましょう。
- ③自主学習には「説明しなさい」「決められた語句を使って(文を)書きなさい」という短文記述の問題があります。必ず解き, 文をつくるのが難しい場合は解答解説を見たり, 先生に質問して疑問を解決しましょう。

令和6年度 シラバス

教科	2年社会	担当	
----	------	----	--

1【教科の目標】

・社会的な事柄や出来事に対する関心を高め、広い視野に立って課題を主体的に解決しようとする態度を育てるとともに、幅広い知識をもとに諸資料を活用し、多面的・多角的に考察・判断し、表現する力を養う。

2【令和5年 第2学年社会科 年間指導計画】

学期	月	単元・題材	時数	学 習 活 動
1学期	4	地理 ◇第3部 ・2章 世界と比べた日本の地域的特色	30	歴史 習得する内容 ・江戸幕府の身分制社会とその文化について、支配階層の武士と、被支配階層の百姓・町人、被差別身分の立場から考察する。 ・江戸幕府の支配が様々な問題を抱えつつも安定して続いた理由を、幕府や諸藩の改革を踏まえて考察し、表現する。 ・開国への過程とその後の倒幕運動について、尊王攘夷派と開国派それぞれの立場から考察する。 ・我が国が近代国家へ転換していく過程を、欧米諸国の動きとの関わりとともに理解する。 ・御一新と諸改革の内容について理解し、その影響を考察する。 ・文明開化と殖産興業による社会の変化を理解し、日本の近代文化の特色を考察する。 ・帝国主義政策を進める日本と、東アジア諸国との関係を理解する。
	5	歴史 ◇第3章 武家政権の展開と世界の動き		
	6	・3節 武士による支配の完成 ・4節 天下泰平の世の中 ・5節 社会の変化と幕府の対策		
	7	地理 ◇第3部 日本のさまざまな地域 ・3章 日本の諸地域		
	8 9	九州地方 中国・四国地方 近畿地方		
2学期	10	歴史 ◇第4章 近代(前半)近代国家の歩みと国際社会 ・1節 欧米国家における「近代化」 ・2節 開国と幕府の終わり ・3節 明治政府による「近代化」の始まり	25	地理 習得する内容 ・国の特色を大きくとらえる視点と方法を身に付ける。 ・世界的視野から日本を一つの地域として見た時の、日本の国土の特色を大観する。 ・わが国の地域的特色を自然環境の面から追究し理解する。 ・わが国の地域的特色を人口の面から追究し理解する。 ・わが国の地域的特色を地域間の結びつきの面から追究し理解する。 ・わが国の地域的特色を資源や産業の面から追究し理解する。 ・日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきなど、地域的な特色をとらえる。
	11	地理 ◇第3部 日本のさまざまな地域 ・3章 日本の諸地域		
	12	中部地方 関東地方		
	1	歴史 ◇第4章 近代(前半)近代国家の歩みと国際社会 ・4節 近代国家への歩み ・5節 帝国主義と日本 ・6節 アジアの強国の光と影		
	2 3	地理 ◇第3部 日本のさまざまな地域 ・3章 日本の諸地域		
	1	東北地方 北海道地方	30	歴史 習得する内容 ・日清・日露戦争に至った日本の政策について理解し、2度の対外戦争の勝利によって日本が軍事大国化を目指したことや、韓国併合が行われた過程について考察する。 ・第一次世界大戦の背景に、勢力拡大に民族主義を利用しようとした大国の思惑があることに気付き、大戦とロシア革命の結果、欧米列強の力の均衡に大きな変化が生じたことを理解する。 ・大戦景気によって日本が経済発展を遂げ、戦後国際連盟の常任理事国として国際的地位を高めた一方、米・英・仏などと対立を深めたことを理解する。
	2 3	◇第4部 地域の在り方		

3【社会科の学習について】

〈学校〉

- ①授業開始前に教科書・ファイルを机の上に準備しておきましょう。
- ②「聞く」「考える」「書く」活動を大切に行いましょう。
- ③前の時間の内容の復習である小テストや課題にしっかり取り組むようにしましょう。

〈家庭〉

- ①復習を基本として行いましょう。
- ②前の時間に学習した内容の問題を、自主学習を使って、解答を隠すなどして何度も解きます。解けない問題は解説を読んだり、先生に質問しましょう。
- ③自主学習には「説明しなさい」「決められた語句を使って(文を)書きなさい」という短文記述の問題があります。必ず解き、文をつくるのが難しい場合は解答解説を見たり、先生に質問して疑問を解決しましょう。

令和6年度 シラバス

教科	3年歴・公	担当	
----	-------	----	--

1【教科の目標】

社会的な事柄や出来事に対する関心を高め、広い視野に立って課題を主体的に解決しようとする態度を育てるとともに、幅広い知識をもとに諸資料を活用し、多面的・多角的に考察・判断し、表現する力を養う。

2【3年歴史・公民 年間指導計画】

学期	月	単元・題材	時数	学 習 活 動
1学期	4	歴史 ◇第6部 二度の世界大戦と日本 ・2章 高まるデモクラシーの意識 ・3章 軍国主義と日本の行方 ・4章 アジアと太平洋に広がる戦線	75	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の後、国際社会に国際協調、経済発展、民主主義、民族自決、社会主義運動などの動きが広まったことを理解する。 ・日本のいわゆる軍国主義の特性について考察する。即ち、大正期の国際協調政策に対するナショナリズムの高まりを背景として、政党政治への失望と社会の閉塞感を抱えた国民の世直しへの期待と支持が、エリート層である軍部に向かった過程を分析する。 ・太平洋戦争を経て始まる我が国の戦後社会について、悲惨な戦争体験があらゆる社会階層の出発点となったことを踏まえて理解を深める。 ・戦後復興と国際社会復帰、経済成長の一方、安保闘争と学生運動、在沖米軍基地など、社会矛盾が深刻化した過程を考察する。 ・冷戦と冷戦後の国際社会の問題について学び、変動性・不確実性・複雑性・曖昧性で規定される現代社会と個人の関係について考察する。 ・現代日本をグローバル化、情報化、少子高齢化の視点から理解する。 ・現代社会を捉える見方や考え方を具体的な社会生活と関連付けて考察する。
	5	公民 第1章 現代社会と私たち ・1節 現代社会の特色と私たち ・2節 私たちの生活と文化 ・3節 現代社会の見方や考え方		
	6	第2章 個人の尊重と日本国憲法 ・1節 人権と日本国憲法 ・2節 人権と共生社会 ・3節 これからの人権保障		
	7	第3章 現代の民主政治と社会 ・1節 現代の民主政治		
2学期	8	第4章 私たちの暮らしと経済 ・1節 消費生活と経済 ・2節 生産と労働 ・3節 市場経済の仕組みと金融 ・4節 財政と国民の福祉	65	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深めると共に、日本国憲法の基本的原則についての理解を深める。 ・様々な人権課題の解決や、共生社会の実現に向けての取組に、積極的に関わろうとする意欲や態度を身に付ける。 ・国会を中心とする日本の民主政治の仕組みのあらましや、地方自治の基本的な考え方について理解する。 ・法の意義や法に基づく公正な裁判の保障について理解する。 ・統計資料や図など様々な資料を収集・選択し、読み取ったり、結果をまとめたりする学習をする。 ・我が国の政治体制が人権の保障を最大の使命としていることについて理解を深める。 ・投票率の低下や二大政党制の挫折などの事例を通して、国民の政治的関心の低下とそれがもたらす変化について考察する。 ・経済活動が、人間生活の維持・向上のために欠かすことのできないものであることを、身近な消費生活を通して理解する。 ・金融の働きや職業の意義、雇用問題などについて関心を持ち、経済活動や社会生活における影響や役割について考える。 ・資本主義における市場の拡大と、市民の権利の保護の関係について考察する。即ち「小さな政府と大きな政府」や規制緩和の問題である。 ・国民生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について理解する。 ・人類の福祉と、国家間の相互の主権尊重と国際協調、各国民の相互理解と協力の関係について考察し、SDGsが目指す社会の在り方について理解を深める。
	9			
	10	終章 より良い社会を目指して		
	11			
	12			
	1			

3【社会科の学習について】

〈学校〉

- ①授業の課題に集中して取り組みましょう。
- ②「聞く」「考える」「書く」活動を大切にいきましょう。
- ③前の時間の内容を復習して、小テスト等に取り組みましょう。

〈家庭〉

- ①復習を基本としていきましょう。
- ②前の時間に学習した内容の問題を、自主学習を使って、解答を隠すなどして何度も解きます。解けない問題は解説を読んだり、先生に質問しましょう。
- ③自主学習には「説明しなさい」「決められた語句を使って(文を)書きなさい」という短文記述の問題があります。必ず解き、文をつくるのが難しい場合は解答解説を見たり、先生に質問して疑問を解決しましょう。